

2019年5月31日  
株式会社 Swandive

## 本のサブスクリプションサービス「shelff (シェルフ)」の 事前登録を開始します

～時間がなくて読書ができていない人へ読書の習慣化をサポートします～

株式会社 Swandive（所在地：東京都江東区、代表取締役：吉村恭輔、以下「当社」）は、2019年6月に予定している本のサブスクリプションサービス「shelff」(<https://shelff.jp>) のサービス開始に先立ち、2019年5月31日より事前登録を開始します。



### ■サービスの概要

[shelff](https://shelff.jp) は、読みたい本をベースに毎月3冊ずつ定額で本をお届けする、頒布会型のサブスクリプションサービスです。登録ユーザーはあらかじめ読みたい本をウィッシュリストに登録しておくことで、その中から2冊、残りを登録された本の傾向から自動的に関連した本を選択してお送りします。

また、お届けするだけでなく、読み終わって不要になった本や家あるいはオフィスに退蔵されている本の引き取りも同時に行い、引取量に応じて利用料金を割り引く仕組みでサービスを提供します。

料金：1,500～2,500円/月（税抜）

※金額はサービス開始時点での予定です。サービスの状況によって今後変動する可能性があります。

## ■ サービス開発の背景

読書が学びに高い効果があることは明らかにされているにも関わらず実行できていない人が多く、しかも月に1冊も読めていない人が多い状況にあります。しかし、こういった人たちも本を読みたくないわけではなく、当社が行った調査によると、月に1~3冊は読みたいと思っていながらも、「時間がない」という理由で読めていないことがから分かりました。その一方で、月に何十冊も読んでいる人がいるのもまた事実です。誰にとっても1日は24時間であるのにこの違いが生じる理由を当社が調査したところ、大きな要因として読書習慣の有無によることが分かりました。つまり、読書ができていない背景にある本質的な課題は、「時間がない」のではなく「時間を作れていない」ことと言えます。

また、読むことを始める前にまず本を買うことが必要となりますが、本を買うことが日常的な行為でない人にとってはここが読書の最初の大きなハードルとも言えます。つまり、始めることも億劫ですが、そのための準備が億劫になっているというのが、読書ができていない背景にある課題の一つと言えます。

そこに着想を得て、複数冊の本を定期配送することで、面倒な購入のステップを省略しつつ、半ば強制的に読書環境に身を置いて課題が解決できるよう、[shelff](#)を開発しました。

運動習慣をサポートするサービスが人気であるように、[shelff](#)は読書習慣を身に付けることをサポートするサービスでありたいと考えています。

## ■ サービスの利用イメージ



1. ウィッシュリストを作る  
読みたい本をあらかじめサイト  
上から登録してください。



2. 通知を受け取る  
本をお届けする日の約2週間前  
に通知をお送りします。



3. 本を受け取る  
ウィッシュリストから2冊と関連した本を1冊自動選択してお届けします。

## ■ 今後の展望

[shelff](#) は本のサブスクリプションサービスとして読書を通じた学びのサイクルの確立ができるサービスを目指していきます。さらには、読書を通じた学びのコミュニティをサイト内に形成し、学びを最大化できるサービスを目指しています。そして、読書を通じた学びにより、社会全体がより豊かになることを追求します。

■会社概要

会社名：株式会社 Swandive

所在地：東京都江東区

代表者：吉村恭輔

設立：2019年5月21日

URL：<https://swandive.co.jp>

事業内容：

本のサブスクリプションサービス「shelff」の運営

URL：<https://shelff.jp>

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社 Swandive 担当：吉村

メールアドレス：[pr@swandive.co.jp](mailto:pr@swandive.co.jp)